



愛する家族、友人、同僚らの命を突然奪う突然死。それは、ある日突然やってくる。
 心臓が原因の突然死は年間およそ7万件。いつでも、どこでも、誰にでも起こりうる。

心臓が止まってから何もされなければ、数分でその命は消える。

しかし、そばにいる人が直ちに心肺蘇生を実施し、AEDを使うことができれば、救命率は4倍に跳ね上がる。

2014年は日本で一般市民がAEDを使うことができるようになって10年の年。

ところが、目の前で突然倒れた人に電気ショックが行われたケースは、わずか3.7%。

—このままでいいのか—

普及しつつあるAEDを有効に活用すれば、救える命はたくさんあるはず。

そんな思いで、全国の心肺蘇生とAED普及に努める組織が一つになって、

「減らせ突然死～使おうAED～」プロジェクトが立ち上がった。

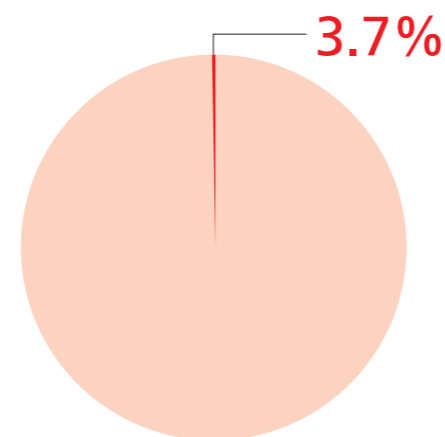
From 4 to 5

減らせ突然死プロジェクトが掲げる目標「From 4 to 5」

1. AEDによる電気ショック実施率を4%から5%へ^{図1}
2. 突然の心停止現場に居合わせた人が心肺蘇生を実施する割合を4割から5割へ
3. AEDで電気ショックを受けた方の救命率を4割から5割へ

プロジェクトでは、この目標実現に向けて、具体的な方策の提言と情報の共有を目指している。

図1: AEDによる電気ショック実施率



出典: 総務省消防庁 平成25年版 救急救助の現況より 改変引用



Web site

AED体験者による命の記録Movie、プロジェクトへの想い、誰もが利用できるポスターやロゴマークのダウンロードコーナーなど、情報発信の基地として公開。
 アスリートたちからの応援メッセージも届いています。



<http://aed-project.jp/>

facebook & twitter

全国のAED、心肺蘇生に関するトピックを紹介する交流の場として解放。一体となって目標に挑んでいます。



減らせ突然死プロジェクト



減らせ突然死プロジェクト
 @aed_project

NHK project

本プロジェクトと連動して、心臓突然死を減らすため、心臓マッサージやAEDの重要性をニュースやイベントなどで発信していきます。
<http://www3.nhk.or.jp/d-station/program/aed/>



Event

協賛している各団体が連携して各地のイベントで啓蒙活動に取り組んでいます。



使おう！



AED導入10年目プロジェクト

減らせ突然死

大切な人が突然倒れたとき、あなたは何ができますか？

【共催】公益財団法人 日本心臓財団、NPO法人 大阪ライフサポート協会、一般社団法人 ハートセーバージャパン、一般社団法人 松田直樹メモリアル、一般財団法人 日本救護救急財団、NPO法人 愛知万博記念災害・救急医療研究会、NPO法人 日本救急蘇生普及協会、NPO法人 日本ライフセービング協会 【協賛】キヤノンマーケティングジャパン(株)、旭化成ゾールメディカル(株)、フィジオコントロールジャパン(株)、日本光電工業(株)、フクダ電子(株)、(株)アレクソン、メドピア(株)、オムロンヘルスケア(株)、救命コム、(株)CU、アテナ工業(株)、プリストル・マイヤーズ(株)、第一三共(株)、(株)フィリップスエレクトロニクスジャパン、吉村司法書士事務所、レルダールメディカルジャパン(株) 【後援】厚生労働省、文部科学省、消防庁、日本赤十字社、一般財団法人 日本救急医療財団、一般社団法人 日本救急医学会、さいたま市教育委員会、一般社団法人 大阪府医師会、名古屋市交通局、全国学校安全教育研究会、朝日新聞社、(株)大広、(株)チューリップテレビ 【その他】NHKも独自にプロジェクトを立ち上げ、本プロジェクトと連動する(2014年8月26日 現在)